

講 義 要 項

授業科目		保健医療論		担当者	昇 卓夫
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	15 時間	講義		2年次・前期
授 業 目 標					
医療の現状を知り、社会のニーズ及び医療従事者としての責任と役割について理解する。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 医療と看護の原点	「命」「健康」とは何か関心を寄せ、普遍的に問い続けることの重要性が理解できる。	1. 命について考える 2. 健康とは 3. 病の体験 4. 癒しの行為と癒しの知	2		講義
2. 医療の歩み	医療の歴史的変遷から、病気や医療に関する考え方が社会により異なることが理解できる。	1. 現代医学の起源 2. 日本の医療の歩み 3. 20世紀の医療 4. 医療観の移り変わり	2		講義
3. 生活と健康	日常生活の中にある医療の仕組みを知り、システムが円滑に機能することにより、医療が成り立つことが理解できる。	1. 救急医療と蘇生術 2. 診療所と病院 3. 薬と安全 4. 生活と環境衛生、保健・福祉行政	2		講義
4. 科学技術の進歩と現代医療の最前線	高度な科学技術による現代医療において、さらに高度化・複雑化している現状と新たな健康問題の発生について理解できる。	1. 新たな生活スタイルと健康問題の発生 2. 先端医療技術の最前線 3. 移植医療	2		講義
5. 現代医療の課題	現代医療の課題について背景と今後について理解できる。	1. 薬の副作用と手術偶発症 2. 医原病とケアの実践 3. 先端医療がもたらす倫理的ジレンマ 4. 生命倫理学と臨床倫理学 5. インフォームドコンセントと医療情報開示	2		講義
6. 医療を見つめ直す新しい視点	医療における合理的判断としてのEBMと患者の安全・医療の管理について理解できる。	1. EBMの5つのステップ 2. 患者の安全 1)人は間違えるもの 2)インシデント・アクシデント 3)システムエラーとしての事故 4)ヒューマンファクター 5)医療現場におけるエラーの背景 3. 医療の管理と評価 1)システムとしての医療 2)PDCAサイクル	2		講義
7. 保健・医療・福祉の今後	医療従事者の持つべき資質、チームアプローチの重要性を学び、21世紀の保健・医療・福祉のあり方について理解できる。	1. 人々の健康における医療の役割 2. 新時代の保健・医療の担い手 1)さまざまな看護職種 2)新しい看護教育の方向性 3)チーム医療・チームケア 3. プライマリケアの展開 4. 医療におけるケアの視点 5. 保健・医療の国際化 6. 地域包括ケアシステム	2		講義
			修得試験	1	1

参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(1), 医療概論, 医学書院. 2. 看護師国家試験問題集 全問解説集, 医学書院.
評 価	1. 単位修得試験
備 考	実務経験：医師として、豊富な実務経験をもとに授業を行う。